

■ 葉いもち出さねば穂いもちも無し!!

☆いもち病は一旦発生すると広範囲に感染を及ぼします。余り苗のほ場への放置はいもち病の発生源となりますので、補植が終わったら直ちに撤去しましょう。

◎葉いもち予防のため箱処理剤施用や側条施用を行っていない場合は、オリゼメート粒剤を散布しましょう。**箱処理剤を施用した場合は散布の必要はありません。**

オリゼメート粒剤は6月15日頃(12～18日)の散布が目安です。

…もしほ場内でいもち病発生を見つけたら

持ち込み病斑やほ場の余り苗などからの伝染を早期に発見した場合は、**営農センターへ相談するか、予防剤と治療剤の混合剤（ブラシン剤）の茎葉散布**を行います。



■ イネアオムシ（フタオビコヤガ）の防除

ここ数年、イネアオムシ（フタオビコヤガ）の発生が多く、多くの生産者の悩みの種となってきました。

今年は低温の影響からか越冬世代の発生は少ないようですが、十分に注意しましょう。

発生が少ない場合は防除の必要はありませんが、発生が多い場合は、イネの葉が食害され、生育の遅れや登熟不良などを引き起こすため防除が必要になります。



イネアオムシの成虫

イネアオムシの発生時期

第一世代 5月下旬～6月上旬
第二世代 7月上旬
第三世代 8月上旬

茎葉散布剤

薬剤名	希釈倍率・散布量(10a)
トレボン粉剤DL	3kg
MR. ジョーカーEW	2,000倍/100ℓ

■ 天気の変化を考慮した稲づくりを

「東北地方1ヶ月予報」 平成25年5月17日 仙台管区气象台発表

〈向こう1ヶ月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)〉

【気温】東北地方	30	30	40
【降水量】東北日本海側	30	40	30
【日照時間】東北日本海側	30	40	30
凡例:	低い(少ない)	平年並	高い(多い)

〈気温経過の各階級の確率(%)〉

1週目 東北地方	20	40	40
2週目 東北地方	20	40	40
3～4週目 東北地方	30	40	30
凡例:	低い(少ない)	平年並	高い(多い)

〈予報の対象期間〉

1ヶ月: 5月18日(土)～6月17日(月)
1週目: 5月18日(土)～5月24日(金)
2週目: 5月25日(土)～5月31日(金)
3～4週目: 6月1日(土)～6月14日(金)

天候、病害虫に負けない稲づくりを励行しましょう!



No.3

農業技術情報

平成25年5月発行

監修: 仙北地域振興局農林部農業振興普及課



安心のネットワーク

NOSAI 仙北

■ 田植えは温暖な日に行いましょう ■ ～田植え後の水管理で元気なイネに～

■ 田植えは天気との相談で…

不安定な天候が続いていますが、田植えは日平均気温が**稚苗で13℃以上、中苗で14℃以上**の日に行います。出来れば最高気温が20℃以上あれば、さらに活着が促進されます。

※裏面に天気の1ヵ月予報を掲載しております。

1) 栽植密度

○慣行栽培で安定収量を狙う茎数…70株/坪を基本

安定的に収量を得るために、栽植密度は70株/坪を確保しましょう。

株数を多く植え付けることで、天候に左右されにくくなり、安定的に生育・収量を確保できます。

○おばこロマン「米の精」を投入したほ場の茎数…50株/坪を基本

おばこロマン「米の精」栽培は、土壌を肥沃にし、土壌中の微生物を活性化させることで、アミノ酸等のうま味成分をコメに蓄積させる栽培技術です。うま味成分をより多く蓄積させ、お米一粒一粒を大粒にするため、肥料の特性にあわせ栽植密度を50株/坪とします。

2) 植え付け深さ

植え付けが深すぎると「分けつ不足」を招きます。深さの目安は稚苗で2.0cm、中苗で2.5cm程度とします。3.0cm以上の深植えでは、分けつの発生が遅れ、茎数不足になりますので、注意してください。

3) 箱粒剤散布のポイント

育苗期間中に低温で経過したことから、過保護に育てられた**軟弱な**苗が散見されます。箱粒剤は軟弱徒長苗やムレ苗、老化苗に散布すると薬害を生じる恐れがあるので、注意してください。

使用時は、育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水してから、田植機にかけて移植します。

4) 側条施肥のポイント

側条施肥は**肥料によって比重が若干違う**ため、施肥機の開度を調整する必要があります。使用する肥料の比重を確認し、目的の投入量になるよう調整をします。

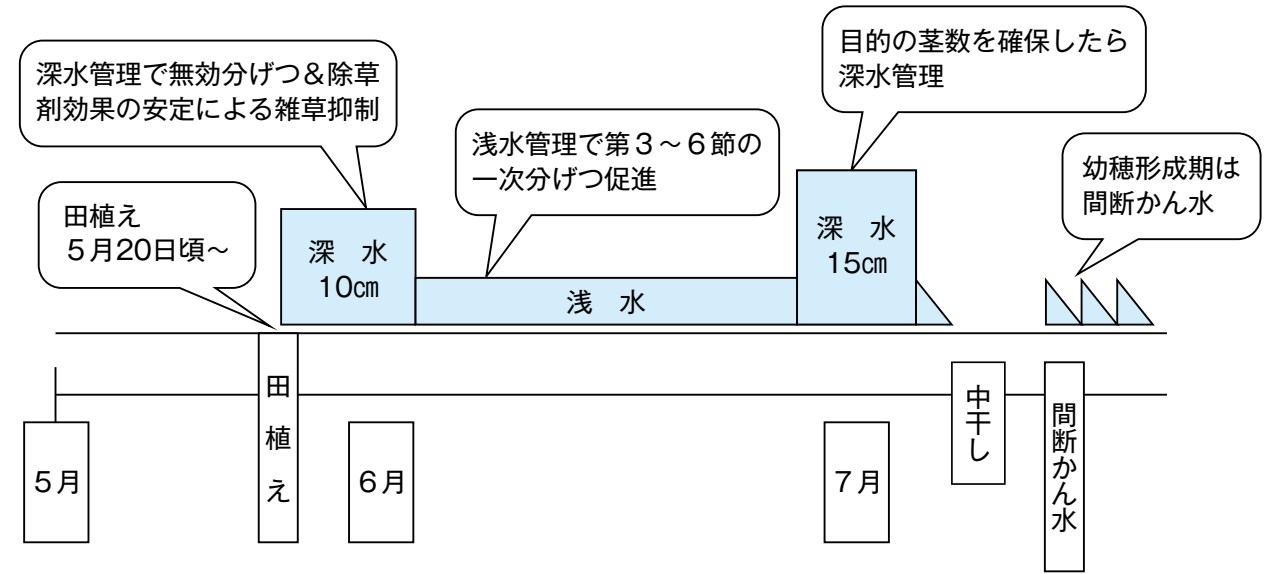
※下記の表に無い肥料は販売先に確認してください。

主な肥料の比重

JA秋田おばこ専用銘柄	
おばこロマン1号…0.84～0.86	有機入りセラコートR484…0.85
おばこロマン2号…0.80～0.82	有機入りハイチッソ24号…0.86～0.88
おばこロマンロング1号…0.88	有機入りハイセラ25…0.85
おばこロマンロング2号…0.85	おばこ専用14-14-14…0.86

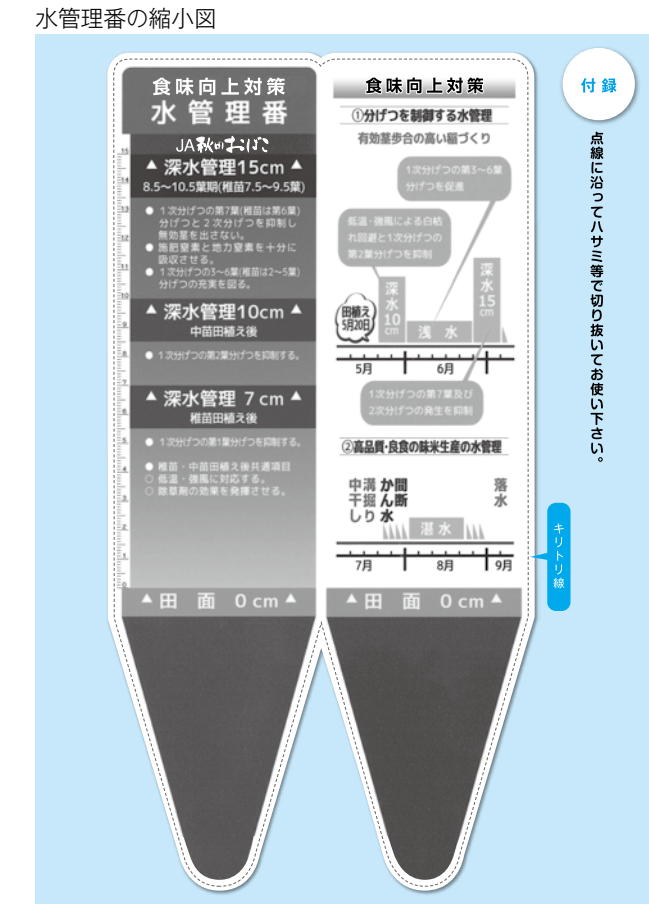
■ 蓄積型水稻の水管理

※蓄積型水稻とは、有効茎歩合の高い稲づくりのことを言います。
穂にならない無効茎の発生を抑え、茎が太い有効茎を主体に穂数を確保する技術です。



- 田植え直後は低温障害を回避するとともに無効分げつの発生をおさえるため、深水管理（10cm程度）とします。
- 田植え直後に除草剤を同時散布または当日に散布する場合は、上記深水状態を7日間程度保ちます（フロアブル、ジャンボ剤では水深を5～7cm以上とします）。田植え後、日を置いて除草剤を散布する場合は、粒剤で水深4cm以上を7日間程度保つと除草剤の効果を最大限に発揮できます。
- 除草剤を散布するときに藻類（カナ）や表層剥離が多いときは除草剤の効き目が極端に低下しますので、カナを除去する効果のある“モゲトン”を使用します。（次ページ参照）

■ 知って得する稲づくり付録 “水管理番” を活用しましょう!!



・J A 秋田おばこで配付いたしました「知って得する稲づくり実践編」の付録にある“水管理番”を活用し、田んぼの水がどの程度入っているのか、どのくらい浸透するのか把握し、有効茎歩合の高い稲づくりを励行しましょう!!

- ① “水管理番” は単体では自立しませんので、使用する場合は、中に割り箸等の棒状のものや、木片を挟むようにして使用してください。
- ② 数に限りはありますが、J A 秋田おばこの各営農センターに“水管理番”の在庫がありますので、ご使用の場合はお気軽にお問い合わせください。

☆斑点米カメムシ対策まで見据えた除草管理の徹底を!!☆

○除草剤使用のポイント～表層剥離対策、初中期一発剤・中・後期剤体系～

雑草処理の目的	除草剤名	使用時期	10a使用量 薬量・希釈水量	使用方法
藻類（カナ）、表層剥離を抑えたい！	モゲトン粒剤	藻類・表層剥離の発生時 但し収穫45日前まで	1～2kg	湛水散布

初中期一発剤
散布

ホタルイを抑えたい！	ヤイバ1 [※] g粒剤	移植直後～ノビエ3葉期	1kg	湛水散布
	シリウスエグザ1 [※] g粒剤	移植直後～ノビエ2.5葉期	1kg	湛水散布
	アピロキリオMX1 [※] g粒剤	移植直後～ノビエ3葉期	1kg	湛水散布
	バッチリ1 [※] g粒剤	移植直後～ノビエ2.5葉期	1kg	湛水散布

コナギ・オモダカを抑えたい！	ゲットスター1 [※] g粒剤	移植5日後～ノビエ2.5葉期	1kg	湛水散布
	メガゼータ1 [※] g粒剤	移植直後～ノビエ3葉期	1kg	湛水散布

イボクサ・クサネムを抑えたい！	エーワン1 [※] g粒剤	移植後5日～ノビエ2.5葉期	1kg	湛水散布
-----------------	------------------------	----------------	-----	------

初中期一発剤散布後
雑草が残ったら…

中後期剤
散布

ヒエが残ってしまった！	クリンチャー1 [※] g粒剤	移植後7日～ノビエ4葉期まで、 (1.5kg散布でノビエ5葉期まで)但し、収穫30日前まで	1kg	湛水散布
	ヒエクリーン1 [※] g粒剤	移植後15日～ノビエ4葉期まで、 但し収穫45日前まで	1kg	湛水散布

大きめのヒエが残ってしまった！	クリンチャーEW	移植後20日～ノビエ6葉期まで、 但し収穫30日前まで	100ml／ 25～100ℓ	湛水又は落水散布
-----------------	----------	--------------------------------	-------------------	----------

広葉雑草が残ってしまった！	バサグラン粒剤	移植後15日～50日まで、 但し収穫60日前まで	3～4kg	落水又はごく浅く湛水して散布
---------------	---------	-----------------------------	-------	----------------

ノビエと広葉雑草が残ってしまった！	クリンチャーバスME液剤	移植後15日～ノビエ5葉期、 但し収穫50日前まで	1000ml／ 70～100ℓ	落水又はごく浅く湛水して散布
	ヒエクリーンバサグラン粒剤	移植後15日～ノビエ4葉期、 但し収穫60日前まで	3kg	ごく浅く湛水して散布
	マメットSM1 [※] g粒剤	移植後15日～20日 (ノビエ3.5葉期まで)	1kg	湛水散布
	ハイカット1 [※] g粒剤 ※クログワイ・シズイに効果高い	移植後15日～ノビエ3.5葉期まで、 但し収穫60日前まで	1kg	湛水散布
	フォローアップ1 [※] g粒剤	移植後25日～ノビエ5葉期まで、 但し収穫60日前まで	1kg	湛水散布

※散布にあたっては農薬のラベルをよく読んで使用しましょう。

○ほ場内に雑草が残ると斑点米カメムシを呼び寄せます！

雑草を効果的に処理することでカメムシの飛来を減らし、斑点米の発生を少なくします！

